

好きな事を全力で

電気電子工学科 41 期生(平成 20 年卒)

角 仙一

私は平成 20 年に本科の電気電子工学科を卒業後、九州工業大学へ進学、大学院を経て、現在は住友電気工業の焼結製品事業部に所属しています。焼結製品というと聞き慣れないかもしれませんが、要は鉄を使って自動車等の部品(ギヤ等)を作っています。高専・大学と電気電子を学んできたはずなのに、なんで鉄?と思う方もいると思いますが、私自身このような世界で働くとは思ってもみませんでした。学んできたこととは全くと言っていいほど関係ない仕事をしているので苦勞も多いですが、充実した毎日を送ることができています。私は、今充実した日々を送れるのは、高専・大学での経験があったからだと思っています。今回はそのことを書こうと思います。

私が伝えたいことは、自分が本当に好きだと思えることを見つけて欲しいということ、それを見つけるために、積極的に外の世界に働きかけてほしいということです。私は高専の頃、勉強は得意ではなく、また特に好きでもありませんでした。そのため単位を落とさない程度の点数が取れば良いと思っていましたし、成績は中の中程度でした。ですが高専の頃から部活に入って始めたバドミントンは大好きで、誰にも負けたくないと思って取り組んでいました。自分の好きな事は頑張れるもので、バドミントンに関しては苦しいことも我慢できましたし、結果を残すことができました。

高専時代はバドミントンばかりしていましたが、いざ卒業後の進路を決めるとなった時、私は仕事としてやりたいことが特に思いつきませんでした。そこで、自分のやりたいことを探すため、高専以外の世界も知りたいと考えて大学へ進学しました。大学の研究室では、学んだ知識を使ってたくさんの実験を行うことができ、その中で何か形のあるものを作る仕事をしたいというのを感じ、今の会社に就職しました。今の会社では残念ながら電気に携わることはできませんでしたが、ものづくりの仕事にはとてもやりがいを感じています。そのため今の会社を選んでよかったと思っていますし、広い世界を見たいと思って進学したことは正しかったなと感じています。在校生の中で、やりたいことがイマイチ決まらないという方は、進学も視野にいれてはいかがでしょうか? 広い世界に触れることで視野が広がり、自

分のやりたいことが見つかるかもしれません。それともう一つ、何かやると決めたら全力でやる、ということ私に心掛けています。逆に中途半端にやるぐらいなら思い切ってやめてしまった方が、時間ができていいと思っています。何事も全力でやらなければ真の楽しさを見つけることはできないと思います。在学生のみなさん、自分にとって良い未来をイメージして、それを自分で掴めるように、好きな事を見つけて全力で取り組んでください。そうすることできっと充実した毎日が送れるのではないかと、私は思っています。